

平成19年3月8日

交通政策審議会

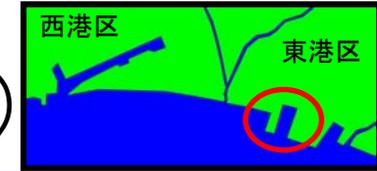
第23回港湾分科会

資料3

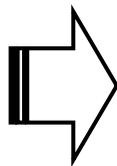
# 苫小牧港港湾計画 一部変更



# 港湾計画変更の概要① (外貿コンテナ埠頭)



**【背景・課題】**  
 外貿コンテナ貨物の増加による岸壁、背後ヤードの不足、滞船の増加



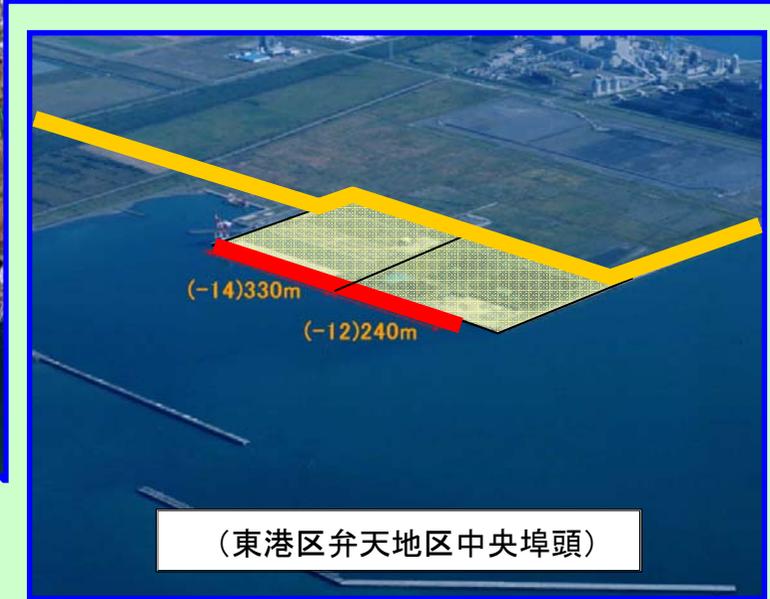
**【対応】**  
 国際コンテナターミナル機能の集約・強化を図る

外貿コンテナ取扱量  
 9万TEU (H10)  
 ↓  
 18万TEU (H17)  
 ↓  
 29万TEU (計画値)



**【既定計画】**  
 岸壁 水深14m 延長330m 1B  
 埠頭用地 11ha

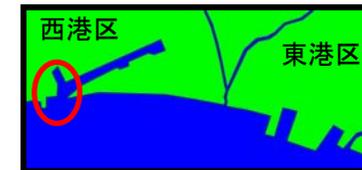
**コンテナターミナル機能を東港区へ移転**



**【既定計画】**  
 岸壁 水深14m 延長280m 1B  
 岸壁 水深10m 延長370m 2B  
 埠頭用地 20ha

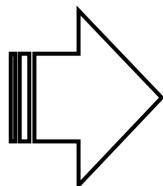
**【今回計画】**  
 岸壁 水深14m 延長330m 1B  
 岸壁 水深12m 延長240m 1B  
 埠頭用地 30ha

# 港湾計画変更の概要②（小型船だまり）



**【背景・課題】**

- 第1船だまり（ポートサービス船）  
曳船の大型化による水深不足
- 第3船だまり（漁船）  
係留施設の不足による船舶の多艘係留



**【対応】**

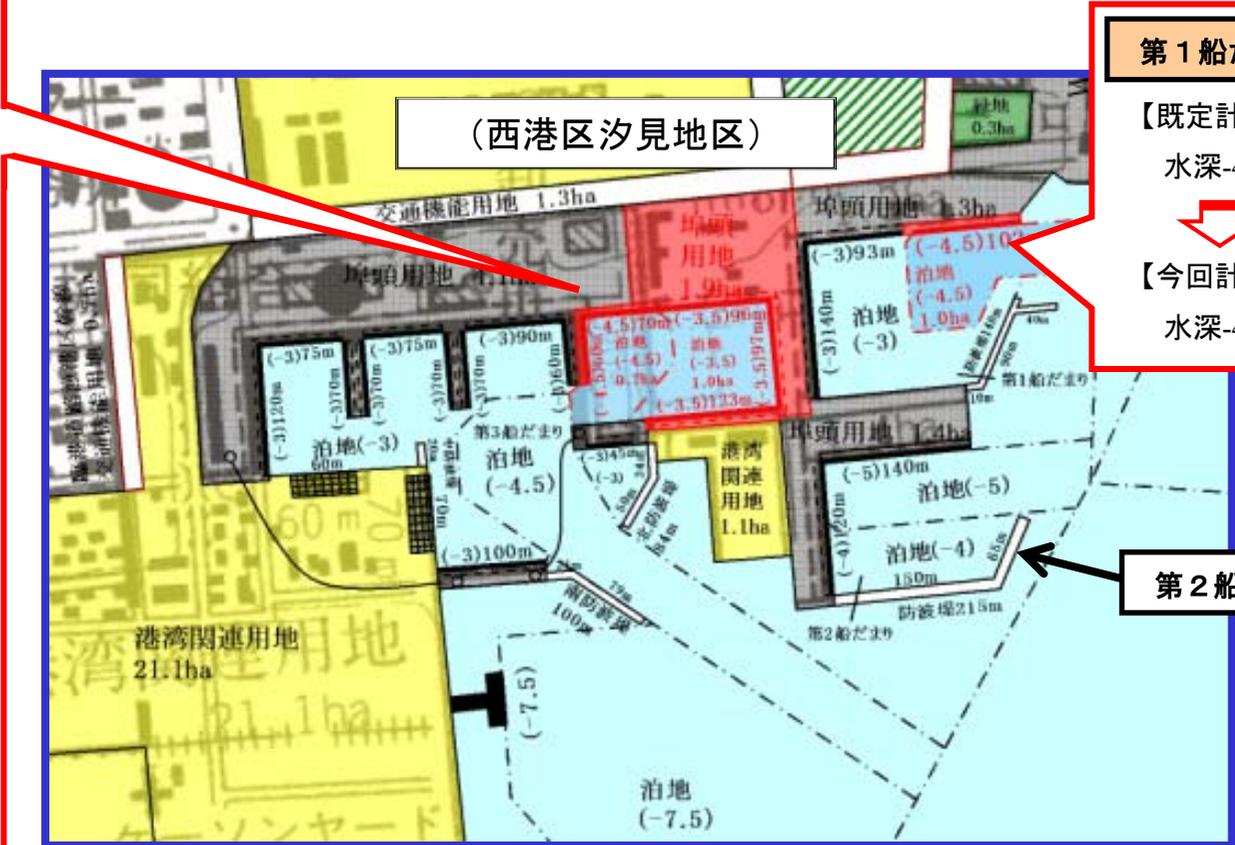
- 第1船だまり  
係留施設及び水域施設の増深を図る
- 第3船だまり  
係留施設及び水域施設等の拡張を図る

**第3船だまり**

**【既定計画】**  
岸壁 水深5m 延長55m（既設）  
埠頭用地 5ha

**【今回計画】**  
岸壁 水深4.5m 延長130m  
物揚場 水深3.5m 延長316m  
泊地 2ha  
埠頭用地 6ha  
岸壁 水深5m 延長55m（撤去）

船舶の多艘係留状況



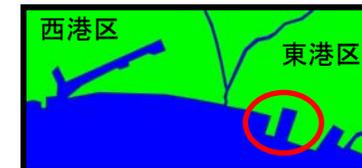
**第1船だまり**

**【既定計画】**  
水深-4.0m

**【今回計画】**  
水深-4.5m

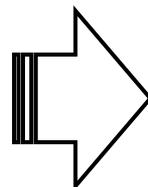
**第2船だまり**

# 港湾計画変更の概要③（大規模地震対策）



## 【背景・課題】

- ・大規模地震対策施設の未整備
- ・日本海・千島海溝周辺海溝型地震、断層活動に伴う直下型地震による甚大な災害が懸念されている。



## 【対応】

大規模地震発生時の住民の避難や緊急物資輸送等に対応するとともに、復旧活動の支援機能を確保する。

